

業 務 棚 卸 表 (総 括 表)

年度	平成16年度	作成日	平成16年6月1日
所属名	あけぼの学園		
所属コード	013582	作成者	田中 幸雄
評価日	平成17年6月20日	評価者	田中 幸雄

総合計画	柱	コード	項目の内容
	基本目的	6	市民が自立して生活できる
	行動目標	6-4	障害のある人の自立と社会参加を促進する

上位目的	成果・活動目標	実績(平成14年度)			実績(平成15年度)			実績(平成16年度)			目標(目標平成16年度)	困難度	業務割合	達成度測定	
		50%	(25名 ÷ 50名)	[就学児童1名は除く]	62%	(31名 ÷ 50名)	[就学児童2名は除く]	36%	(18名 ÷ 50名)	[就学児童2名は除く]					60%
日常生活を送る上で生活課題を抱えている人が必要な支援を受けられるようになる	総合保育率 (終了児童数/措置児童数) [就学児童は除く]	50%	(25名 ÷ 50名)	[就学児童1名は除く]	62%	(31名 ÷ 50名)	[就学児童2名は除く]	36%	(18名 ÷ 50名)	[就学児童2名は除く]	60%	(30名 ÷ 50名)	B		
任務目的	発達指数が伸びた児の比率	15%	18%	38%	20%	B	80%	☆☆☆☆							
	障害のある乳幼児の早期療育をする $\left[\begin{array}{l} \text{発達指数} \\ \text{発達指数} = \frac{\text{発達年齢(発達検査の年齢)}}{\text{生活年齢(実年齢)}} \end{array} \right]$														
	保護者の利用満足度をたかめる	保護者の満足度(アンケート調査実施)	未実施	満足度 83%	満足度 91%	満足度 83%	B	20%	☆☆☆						
任務に対する評価の説明	これまでの取組と成果、手段の妥当性	入園希望者は定員を上回り、年度始め定員50名、措置率100%でスタートした。今年度は3歳未満児が半数を占めたため、継続児が多数となり総合保育率が大きく下がった。成果として今年度は発達指数が伸びた児が前年度より倍増した。また、保護者の相談・援助もきめ細かく対応し、アンケート調査による満足度も目標を上回った。													
	これからの課題、施策・事業展開の方向性	定員外の入園希望者の受け入れについては、現状では施設規模や毎年の希望者数の変動もあり定員増は不可能であり、今後も児童ディサービス事業で対応する。そして、保育士を中心としたより質の高い療育を行い、各専門職との協力・連携を図りつつ全職員による対応で利用児の発達を促進させる。また、保護者のニーズに応じた相談・援助が出来るようにつとめ、利用満足度の向上を図る。													

任務目的が2つ以上ある場合は合計が100%となるよう設定してください。	
シート名	業務割合
Sheet1	100%
合計	100%

総労働時間数	67,902
所属正職員人数	21
" (管理職を除く)	20
年間所定労働時間数	1,944
所属平均時間外数(月平均)	3.0
所属平均年休、夏特日数	15.2
全嘱託職員労働時間数	9,720
全臨時職員労働時間数	19,200

業務コード	目的達成に必要な主な手段	活動目標	実績(平成15年度)		実績(平成16年度)		目標(平成16年度)		困難度	業務割合 H16年度 予算額割合	達成度	基本的な手段に対する評価の説明
			H15年度決算額 (千円)	H16年度予算現額 (千円)	H16年度決算額 (千円)	H16年度予算増減 (千円)	H16年度一般財測 (千円)					
2桁		事業名(小分類)										
01	園内における療育活動・相談・指導援助	出席率 (%)	79%	79%	80%	B	92%	☆☆☆	今年度も園内における療育活動は順調に出来た。比較的軽度な児童もいたためか、発達指数の伸びが大きな児童が昨年度に比べて倍増した。また、今年度は、訓練援助体制の整備を図って利用児の利便を高めた。保護者の相談・援助等も、きめ細かく対応した結果、アンケートによる満足度の数値が前年度より伸びた。今後、より一層の成果を出すには職員個々のレベルアップを図ることが肝要であると考えるので、各種研修に積極的に参加させたい。			
		学園児の健康管理費 (嘱託医師報酬)	663	648	648	△15	648					
		園児・職員・保護者の健康保持費	689	649	405	△284						
		職員研修費	965	1,386	823	△142						
		療育保育用品・備品・被服費	3,625	2,491	2,604	△1021						
		保守管理費	6,790	6,946	7,167	377						
		給食・栄養・摂食・指導管理費	9,717	11,649	9,870	153						
		小 計	22,448	23,769	21,517	△932	648					
02	園外における療育活動・社会参加	交流保育活動回数	114 回	131 回	120 回	B	7%	☆☆☆	園外における療育活動の主なものとして、公立保育園を中心に交流保育を行っている。今年度、保護者の要望として、公立幼稚園への交流も要望が出ていたので次年度はその点留意して取り組みたい。プールは毎週水曜日に増進センターで実施しているが、児童の療育はもろろんのこと保護者のストレス解消にも大いに役立っている			
		園外療育活動費(交流保育・キャンプ・プール・卒園児東山動物園見学)	265	507	251	△14	507					
		小 計	265	507	251	△14	507					
90	内部業務	予算・庶務関連業務				B	1%		各団体の負担金については適正な事務処理手続きを行った。			
		負担金・補助金 団体会費	101	119	104	3						
		小 計	101	119	104	3						
		人件費										
		一般職給	149,735	160,214	160,529	10,794	76,563					
		嘱託職給	16,594	17,767	16,527	△67	17,684					
		小 計	166,329	177,981	177,056	10,727	94,247					
		中 計	166,430	178,100	177,160	10,730	94,247					
		合 計	189,144	202,376	198,928	9,784	95,402	100%				